

社団法人日本福祉車両未来研究会

【ニュース】 2016_11_10

ロボットによる身体介護、約 8 割が「受けてもよい」

オリックス・リビングが7日に公表した調査の結果では、ロボットによる介護サービスを受けることに肯定的な考え方を持っている人が、77.7%にのぼったと報告されている。「気を使わないから (50.7%)」、「本当は人の手が良いが気を使うから (29.1%)」との理由が約 8 割を占めた。「ロボットの方が安心・安全そうだから」は 11.7%にとどまっている。

この調査は、全国の 40 歳以上の男女が対象。今年 10 月にインターネットで行い、1,238 人から回答を得たという。

「介護の日」(11月11日)に合わせ第9回「介護に関する意識調査」(PDF)

http://www.orixliving.jp/company/pdf/pressinfo_161107.pdf

「あなたが今後介護される立場になった場合、介護ロボットによる身体介護を受けたいですか?」。結果によると、「積極的に受けたい」が 9.9%、「ロボットが推奨されていれば受けてもよい」が 67.8%で、この 2 つをあわせると 77.7%だった。日常的に使いたい介護ロボットのタイプでは、歩行や排泄、移乗を支援するものが多く選ばれている。

一方で、「ロボットによる身体介護は受けたくない」は 20.4%。その理由を多い順にみると、「人の手で介護されたいから (55.7%)」、「ロボットが安心・安全に思えないから (29.2%)」、「ロボットは冷たいイメージがあるから (12.6%)」となっている。

◆ 「介護離職ゼロ」の意味、5割強が理解せず

今回の調査では、親の介護のために仕事を辞めなければいけない人を無くす「介護離職ゼロ」について、55.1%が正しい意味を理解していないことも明らかにされた。「わからない」が 31.1%だったほか、「介護職員の離職を防いで、介護業界の人手不足を解消するための施策」と誤認している人が、24.0%いたという。このほか、82.5%が介護休業制度の内容を「知らない」と答えていたことも分かっており、政府の重要政策が十分に浸透していない実態が浮き彫りになっている。

////////////////////////////////////
〒460 - 0006
愛知県名古屋市中区葵 1 丁目 27 番 3 号
染木第 2 ビル 4 階 403 号室
社団法人日本福祉車両未来研究会
電話 052 - 937 - 2941
FAX 052 - 937 - 2940
Mail info@294mirai.com
<事務局 吉川 剛>
////////////////////////////////////

会員企業名
〒239-0842 横須賀市長沢6丁目30番4号 有限会社ヤマヨク保田商会 電話 046(849)3210 FAX 046(849)7147